



# 廿日市中学校区 スクールソーシャルワーカー通信

## (臨時号：小中移行編)



～小中移行に向けた連携を始めています～

明けましておめでとうございます。今年も、よろしく願いいたします。いよいよ小学校生活も残りわずかとなり、思い出作りもラストスパートに入りますね！！

名残惜しい思いと、中学校生活についての期待、希望、不安や色々な思いを抱える日々だと思います。

保護者の方もお子様の姿を見て「大きくなったな…」と感慨深い思いやまだまだ子どもで…「中学校に行っても大丈夫かしら？」という様々な思いを抱えておられる日々ではないでしょうか？

学校には、教育相談の充実を目指して、スクールソーシャルワーカー（SSW）やスクールカウンセラー（SC）が配置されています。

中学校への進級も含めて、困ったこと、気になることや心配なことがありましたら、早めにご相談ください。小中の先生方と一緒に考えていきます！！

廿日市中学校では、皆さんが4月に入学して来てくれるのを楽しみに待っています。

スクールソーシャルワーカー（SSW） 赤木 英子  
（社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師）

### ○相談について

Point 1：相談内容は問いません。SSWは、子どもたちと保護者の方の「生活の中で、困っていること。心配なこと」に対応していきます。

★対面での面談、電話相談、必要に応じてご家庭に出向いての相談支援を行います。

（事前に予約をしていただくと助かります）

→まずは、所属校の担任・生徒指導主事の先生まで

★相談内容に応じては、校内及び学校外の関係機関との連携も行います。

★守秘義務については厳守します

### ○対応可能な日時

月曜日：14時～17時

木曜日：10時～17時

お仕事等で日時の調整が難しい場合は、ご相談ください。



～改めてご紹介～ スクールソーシャルワーカーって何？

「ソーシャルワーカーっていう職種を初めて聞いたな…」と思われる方もたくさん、いらっしゃるのではないのでしょうか？私自身はソーシャルワーカーになって17年目ですが…職業を伝えても、「カウンセラーさんですか？」と言われるり…分かってもらえないことが多いです。（笑）

高齢化が進む現代だと、相談員さんとか介護士さんとか、ケアマネジャーさんとかの方が聞かれたことがあるのかもしれないね。おじいちゃんがデイサービスでお世話になっている「相談員さん」とか…

さて、ソーシャルワーカーの中でも、スクールソーシャルワーカーは、学校を拠点にして、子どもたちや保護者の方が「困っていること」をソーシャルワーク（福祉的な視点）的なアプローチによって、保護者や教員、地域、そして関係機関の皆さんと協力して解決していくことを目指します！！

これから、子どもたちは、思春期真っ只中です。心も身体もどんどん大きくなっていきます。でも、まだまだ子どもでいたい部分もあって…これから、どんな大人になっていこうかという模索の日々が続いていきます。きっと親子で戸惑うこともたくさんあると思います。そんな時、子どもたちも、保護者の方も、一人で抱え込まないでください。

「ちゃんと出来ていないのは自分だけだ…」と思われなくても大丈夫です。一緒に考えていきます！！

～子どもたちと保護者の方が元々持っている力を引き出し、支えるのがソーシャルワーカーの役割です～

～コラム～「私の失敗談（笑）」一案するより産むが易しなのかもしれませんー



「心配なことがあれば、相談をしてください！！」と書いたプリントを配りながら、この内容は、矛盾するのではないかと…と思われるかもしれませんが…ご参考までに、私の失敗談をすこし書いてみたいと思います。（わが子に向かう私は、本当に残念な人なので…お恥ずかしい限りですが…）

我が家には、3人の子どもがいます。3者3様、一人ひとりキャラクターが違います。一番上の子（男の子）が小学生に上がる前の年長さんだった頃の話です。他の子が、名前が読めるようになり、ひらがなが書けたり、数字が書けたり、足し算が出来たりする子が出てきても、我が子はちっとも興味を示しませんでした。友人の心理士さんにも、「興味が出てくるまで、待った方がいいよ」とアドバイスは受けていましたが…さすがに、卒園まで1か月くらいの時期になると、焦りを感じます。私は、ついつい「そんなことでは小学生になれないよ」と頻りに声をかけては、文字を教えようと悪戦苦闘していました。

せめて、ひらがなくらいは読めて、名前くらいは書くことができるようになって入学式を…という私の思いでしたが…息子は、焦る様子もなく…私の声掛けを面倒くさそうに「やだ～」と反抗していました。

職業柄、一人ひとり違っていると分かっている、つい我が子には…（汗）どうしたものか…と思いながら、仕事の合間に本を読んでいたら、「そんなことでは小学校に行けないよ！」は禁句だと書かれていました（汗）

「これ、言うの私だ…」と思い、なぜだろう？と思って理由を読むと、大人は小学校生活の経験があるけど、今から行く子どもにはその経験はないのだから、未知の世界なのだと。その未知の世界に入る子どもに「そんなことでは…」という声掛けは、学校という所は「さぞ、恐ろしいところだ」と伝えてしまっているのだと。なるほど…と思いました。それからは、楽しそうな場所だという興味を持てる声掛けを意識していきました。

私の心配をよそに、入学したら先生に多大なご支援をいただきつつも、元気に通ってくれました。長くなりましたが…保護者の皆さんも、環境が変わることで心配なことも多々あると思います。いつでも声をかけていただけたらと思いますが…意外とやってみると何とかなるのかなとも思います。（もちろん、情報共有など出来る準備はしていきましょう！）中学校は、教科で先生が違いますが、みんなで連携をして子どもたちを丁寧に見てくれるところですよ！！～「Team 廿中はすごいです」安心して進級してきてくださいね！！～